

日本のミネラルウォーターの歴史

年代	内容
江戸時代	神田上水、玉川上水 木樋による旧式水道 (1654) 水屋(水売り)
	《横浜・神戸の居留地の外人用》
1868(M 1)	ノース・アンド・レー商会 炭酸飲料製造販売
1884(M17)	《三ツ矢印平野水》(天然炭酸鉱泉水、川西市平野)が瓶詰・販売
1886(M19)	神戸市布引山麓にて天然鉱泉の湧出を発見
1890(M23)	《クリフォード ウイルキンソン天然炭酸鉱泉》(西宮市塩瀬町生瀬)が瓶詰・販売
18xx(M)	福島県会津若松の奥地 只見川沿いで天然炭酸鉱泉《萬歳炭酸水》が瓶詰・販売
1898(M31)	東京都 水道給水規制を定める 以降、改良水道の創設
1899(M32)	布引礦泉所が《布引炭酸水》(ナチュラル ミネラルウォーター)を瓶詰・販売
	《メジャーなホテル用》
1929(S 4)	堀内合名(現在の富士ミネラルウォーター㈱)《富士ミネラルウォーター》を発売
	《ウイスキーの水割り用・・・業務用》⇒第1次 水の時代
1967(S42)	日本鉱泉飲料㈱《クリスタルチェリー》を瓶詰・販売(山梨県) ニッカウヰスキー㈱《ニッカミネラルウォーター》を瓶詰・販売
1970(S45)	㈱源泉館 天然鉱泉水 《信玄》を瓶詰・販売 サントリー㈱《サントリーミネラルウォーター》を瓶詰・販売
1972(S47)	日本ミネラルウォーター協会を設立
	《家庭用のミネラルウォーター》⇒第2次 水の時代
1982(S57)	食品衛生法施行規則及び食品、添加物等の規格基準の一部改正 (清涼飲料水に関する大改正 PETボトルの登場・・・1982. 2.27)
1983(S58)	ハウス食品㈱《六甲の美味しい水》を瓶詰・販売
1987(S62)	食品衛生法の一部改正 (ミネラルウォーター類の殺菌等について・・・1987. 8.18)
1989(H 1)	サントリー㈱《山崎の天然水、南アルプスの天然水》を瓶詰・販売
1990(H 2)	キリンビバレッジ㈱《安曇山水》を瓶詰・販売 農林水産省 ミネラルウォーター類の品質表示ガイドラインを制定
1993(H5)	日本経済新聞夕刊 『エビアンのミニボトルを革製ホルダーに入れて持ち歩く若者のファッションを紹介 (これを契機として、500mlペットボトル商品の輸入が増加・・・1993. 7.12)
2001(H13)	国内生産数量100万KL突破